

令和4年度

阪南市 企業版ふるさと納税

実績報告書



共創による新しい価値の創造

HANNAN

SDGs未来都市

令和4年度企業版ふるさと納税の実績について

地域再生計画

◆地域再生計画の名称

阪南市まち・ひと・しごと創生推進計画

寄附の詳細

◆非公表の寄附企業（5件）

◆寄附額 計 17,200,000 円

◆寄附対象事業

- ・誰もが健康で幸せに安全・安心な生活しやすいまちづくり
- －スマートシティ推進プラン策定支援業務委託事業
- －災害対応電動車導入事業
- －スマートウェルネスシティ等の推進事業（人材派遣型）
- ・阪南市に住みたくなる、魅力に溢れたまちづくり
- －都市圏と阪南をつなぐ、リビング・シフトに対応したシティプロモーション事業
- －阪南市移住定住推進事業

令和 4 年度

阪南市 企業版ふるさと納税

寄附活用事業

●誰もが健康で幸せに安全・安心な生活しやすいまちづくり

・スマートシティ推進プラン策定支援業務委託事業

(概要)

スマートシティ推進のため、庁内外への説明と推進加速に向けて、スマートシティ推進プランを策定しました。

阪南市スマートシティ推進計画

計画策定の背景・趣旨

背景

日本社会は、人口減少・少子化・高齢化に対応する健康や高齢生活の機微に重点を。デジタル技術を活用した新たなアプローチ。全国でスマートシティ実現に向けた取組を実践。

趣旨

本市においても地域課題を解決するとともに、市の魅力や歴史、地域コミュニティのつながりを将来につなぐ、持続可能なまちを構築することが必要。デジタル技術を活用して多様な主体が各々の知恵とノウハウを発揮し、住民の暮らしの質の向上に取り組むことが必要。スマートシティ推進計画。スマートシティ推進のための基本的な考え方・方向性を示す。

阪南市のスマートシティ推進の基本的な考え方

ONE ACTION
～時代の1歩先をゆくまち～

スマートシティビジョン

未来のめざすべき姿

住みよく、生きやすく、つながりが新たな価値を生み出す創造のまち

新たな手段 - ICT・IoTなどの先進技術データの活用・分野間連携

1. 自律

市民一人ひとりが自ら考えて取り組み、自立した生活や自己実現をできるようにサポートする。

2. 協働

まちに関わる人が協力の精神からともに考え、互いの特性や強みを活かしながら連携して取り組む。

3. 共創

まちに関わる人が協働することで、地域の基盤に切り込み、新たな価値を創造する。

取組分野

阪南市の未来のめざすべき姿

未来のめざすべき姿

住みよく、生きやすく、つながりが新たな価値を生み出す創造のまち

移動・交通

生活に必要な移動の手段が確保されている。

防災

地域住民の防災意識が向上し、実際に備えられている。

行政DX

行政手続きがより便利に行われている。

健康

自身の健康状態を把握し、維持・改善できている。

子育て

子育てに必要な情報や環境が充実している。

環境

取組の豊かな自然環境が維持・保全されている。

教育

学力や課題解決力の向上が図られている。

空間・共創

人と人がつながりコミュニティが活性化して助け合える関係ができています。

都市インフラ

効果的に都市インフラが維持・整備がされている。

観光・シティプロモーション

市内外・国内外に取組の力が伝わっている。市民が誇りと愛着を持っている。

情報発信

必要な時に必要な情報を簡単に入手することができている。

雇用・産業

多様な働き方ができています。まちの産業の担い手が確保できている。

空き家等対策

空き家・空き地・遊休地が適正に管理もしくは有効活用されている。

防犯

地域住民に防犯意識があり、安全が確保されている。

・災害対応電動車導入事業

(概要)

ウィズコロナ時代における新たな災害対応スタイルの構築として、台風や地震などの災害時に、避難所等で空気清浄機などの電化製品や携帯電話に電力供給することができる電源を確保するため、公用車に移動式電源となる「電気自動車」を導入しました。



・スマートウェルネスシティ等の推進事業（人材派遣型）

(概要)

令和4年3月23日に第一生命保険株式会社と企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用した人事交流協定を締結しました。本市へ企業人材を職員として受け入れ、以下に関する事業について充実・強化を図りました。

- 1) スマートウェルネスシティの推進事業
- 2) スマートシティの推進事業
- 3) その他地方創生の推進に寄与する事業



SWC首長研究会



阪南サテライトオフィス



SDGs未来都市
(グリーンカーボン・ブルーカーボン)

●阪南市に住みたくなる、魅力に溢れたまちづくり

・都市圏と阪南をつなぐ、リビング・シフトに対応したシティプロモーション事業

(概要1)

阪南市の認知度の向上の施策として、読売テレビのマスコットキャラクター_シノビーが番組を務める「シノビーと、おさんぼ。」にて阪南市の各地域の魅力を発信しました。

(概要2)

阪南市の新たなPRリーフレット「阪南ぐらし」を作成しました。従来の移住定住ガイドブックとは異なり、阪南市の観光資源情報を加えながら移住検討者層以外の方々でもお楽しみいただけるコンテンツへ編集しました。

(概要3)

読売テレビ本社1Fで毎週末開催される「ytv weekend marche」へ出展しました。阪南市の特産品などの販売に加え、フロアに設置されている関西最大級モニターにて阪南市移住定住PR動画を来場者に向け、発信しました。

併せて、市職員による移住相談窓口を開設しました。



・ 阪南市移住定住推進事業

（概要1）

阪南市の認知度の向上の施策として、モデル・歌手・女優として活躍中の鈴木愛理さんレギュラーのFM大阪ラジオ番組の公開収録として、阪南市移住者や宝島社出版「田舎暮らしの本」編集長の柳順一さん、FM大阪ラジオDJ 淡路祐介さんともに本市の魅力について情報発信を行いました。

併せて、阪南市内事業者や商工会、観光協会、市民団体などと協力をし、同会場にてPRブースを出展しました。

（概要2）

認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センターJOIN が主催する会員市町村限定の全国移住相談イベントへ出展しました。大阪府内市町村での出展は阪南市のみ。移住検討者層に向けたミニセミナーの開催や移住相談ブースを出展しました。ミニセミナーでは、宝島社出版「田舎暮らしの本」編集長の柳順一さんと阪南市移住者を交え、本市の魅力発信を行いました。

（概要3）

株式会社宝島社が出版する書籍「田舎暮らしの本」令和5年1月号に阪南市をピックアップした記事および表紙を掲載しました。2、3ページにもおよぶ阪南市移住者の生の声と大阪府内でありながらトカイナカ生活を体感でき、子育て環境の充実している本市の魅力を発信しました。

